



U20 選抜競歩大会出場

1月31日（金）

第103回日本陸上競技選手権大会兼東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会と合わせて実施される、第31回U20選抜競歩大会に本校生徒が参加します。

日時：2020年2月16日（日）

場所：六甲アイランド甲南大学西側コース（神戸）

主催：日本陸上競技連盟

出場選手

女子5km 2年4組 大出真由（豊里中出身）

大出さんは、1月1日に明治神宮外苑絵画館競歩路コースにて行われた第68回元旦競歩大会において参加標準記録を突破し、出場資格を獲得しました。大出さんは、昨年11月に実施された関東高校新人大会で入賞している選手です。

蛇足になりますが、現在日本の競歩（特に男子）のレベルは非常に高く、東京オリンピックの金メダル獲得が期待されています。日本陸上競技連盟のルールブックによれば、競歩とは、両足が同時にグラウンドから離れることなく歩くことをいう（ロス・オブ・コンタクトにならない）。前脚は、接地の瞬間から垂直の位置になるまで、まっすぐに伸びていなければならない（ベント・ニーにならない）。いずれも目視で判定する、とあります。これに違反すると警告を受けたり、失格になることもあります。一見地味な種目ですが、高度な技術が要求されます。この機会に関係者以外の皆様にも興味を持っていただけると幸いです。

